

湧雲

発行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
15,823

デザイン・印刷・SALAT(株)サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
TEL:079-284-1380 <http://www.salat.co.jp>

ご挨拶

同窓会長 大西 道祥(高17回)

全国の同窓生の皆様お元気で
しょうか？

昨年は西高開校七十周年記念
に際し、全国の同窓生より多額
の寄付を戴き大変感謝しており
ます。平成二十年十一月五日に
は記念講演会・講師 木下博勝
氏(高三十八回生)。十一月十五
日～三十日まで記念美術展。
十一月十五日は記念式典、祝賀
会。十一月二十五日は記念植樹
など一連の行事を盛大に挙行す
ることができましたのも全国で
活躍する同窓生の愛校精神の賜
物と大変感激しております。記
念植樹は音江山スキー場跡地に
桜の苗木を七十本植えました。
今年に入って調べるとねずみと

白樺は空に向かって立つ

鹿による
被害で瀕
死の重傷
になって
おります
が何と
か克服
し「桜花
爛漫」と
なつて欲
しいと
願つてお
ります。

(祈)
この同窓会会報を通し全国の
同窓生の絆がより一層強まるこ
とを願つてご挨拶いたします。



みなさんの

母校への想いを背に

第二十六代校長 須藤 均



深川西高校を取り巻く教育環境
や動向は、めまぐるしく変化して
います。

ここ数年の近隣の高校をみまし
ても、東商業高校と農業高校の統
合による深川東高校の誕生。沼田
高校は来年の三月で、妹背牛商業
高校は今年の三月で閉校となりま
した。過疎化、少子化の進むなか
で高校進学率は九八%になり、高
文連・高体連・高野連は、空知管
内の南北が統合されひとつになっ
ています。

一方、本校の状況をみますと、
自由な気風は、昔であれば西高生
だからで済んだものが、だらしな
いと冷笑を買い、苦情を頂く時代
になりました。

そんな中、「二〇〇九年 深川西
高は 新しい制服でスタートしま
す」のキャッチコピーからなるポ
スターが示すように、平成二十一
年四月八日の入学式は、新調の制
服がそろった生徒の集団になりま
した。数年かけて制服を制定した
と聞きますから、この結果に至っ
た理由は当然推測されます。

さて、昨年七〇年の歴史を刻ん
だ深川西高卒業の先輩のことばを
『湧雲』(七〇周年記念誌)から拾
いますと、「わが深川西高等学校

は、北空知の中心高校として、創
学の理念……立派な高校としての
榮譽を維持していく……」「より責
任ある発展を遂げていくことを心
より……」それぞれのことばに深
川西高校のおかれている現状を、
文字通り受け止めなければならな
いと考えております。

それは、建学の精神、それは「西
は進学」のための学校であり、ま
た、同時に「先進的で質の高い教
育」の発信の場でなければならな
い宿命を背負った学校でもあるか
らです。

とするならば、学校は、絶えず
指導の合理性を求められ、期待と
成果のはざままで時に苦悶すること
になります。本校の教育が、この
苦悶から解放されることはないに
しても、生徒のために限りいっぱ
いの情熱を注ぐことと、生徒の能
力を最大限引き出す的確な指導実
践が求められることだけは確かで
す。

生徒の向学心や向上心を揺さぶ
り、日々の学びを着実に積み重ね、
生きる力と確かな学力を育む学校
にすることが、私たち教職員の使
命と考えます。

同窓生の母校への想いを背に、
教育活動に邁進してまいります。

第六十六回の総会が、五月二十九日プラザホテル板倉にて開催された。須藤校長、佐藤教頭が臨席の中、同窓生他五十余名が出席。会長挨拶の後、校長より挨拶をいただいた。昨年の生徒進路状況、部活動等々の報告がなされました。引き続き会長が議長となり議事進行し、次の議案が審議された。

学校長より挨拶

- 一、平成二十年度事業報告及會計報告
- 二、監査報告
- 三、平成二十一年度事業計画及予算案

- ① 同窓の集い実行委員会構成の件
- ② 緑の学び舎運営委員会事業計画に

植樹「桜花爛漫」継続事業の募集依頼について

③ H P の運営について

④ 卒業記念CD在庫確認と追加分新規作成について

⑤ 同窓会会報の発刊について

⑥ 二十年記念誌の復刻版について

⑦
その他

四、役員改選について

五、その他

事業別に報告がなされた。

今年度の事業計画の審議にはいる。

今年度も同窓の夕べを開催いたしますが実行委

員は末尾「二期」で構成いたします。

緑の学び舎運営委員会については提案どおり承認された。

同窓会林及び修練道場への訪問事業は参加者がいないため今年度も中止し、スキー場からの返還地への植樹、植林を中心に行うように事業内容を変換をしていく事になりました。維持管理は継続して行う。

HPの開設は二十年八月に運用開始。順次内容を充実していくつもりです。又「深川市」「深ナビ」のモール情報も継続して掲載していきます。

卒業記念CDは新規作成する事で承認される
装いも新たに作成されます。

装いも新たに作成されます
同窓会報についてはサラ

同窓会報についてはサラトに初回のみ委託。住所判明者全員に送付する。その後については今後検討する事とする。

検討する事とする。
二十年記念誌の

二十年記念誌の復刻版については今回百部限定で作成し会報で頒布を周知する事で承認を得る。貴重な資料ですから是非お買い求めください。三十年記念誌もありますがこれは現存する部数もありそうです。

他にも貴重な提言、意見をありがとうございます。御座いました。

$$\begin{pmatrix} H_{21} \\ s \\ H_{22} \end{pmatrix}$$

役職	会長	副会長	"	"	"	"	"	相談役	"	監事	"	會計幹事	(校内幹事)	"	"	副幹事長	幹事長	"	"	"	"	顧問	学 校 長	教 育 頭	事 務 長
氏名	大西道祥	引地紀代子	今村釐弘	成田昭彦	寺岡義人	成田雅敏	溝口信義	山森世津子	大西祥太	三上貴康	吉田登美雄	畑博善	坪田邦光	林正衛	板倉克宏	平通明	利波清一	津田恭衛	渡辺一義	吉田登美雄	田中直美	広瀬直美	須藤均	佐藤敏行	佐藤宣徳
期	17	17	17	18	22	28	18	11	28	32	19	23	23	2	12	旧1	旧3	旧5	11	19	27	31			
			新			新				新			新						新						

収入の部

項 目	金 額	備 考
前期繰越金	242,494	
入 会 金	238,500	159×1,500円
振 替 金	100,000	特別会計より
雑 収 入	1,289,830	サラト還付他
合 計	1,870,824	

支出の部

項 目	金 額	備 考
総 会 費	94,340	
役 員 会 費	23,460	
会 議 費	25,725	
交 際 費	90,000	餞別・激励
事 業 費	152,900	吹奏楽他
通 信 費	18,945	
印 刷 費	14,165	
雑 費	2,625	
次期繰越金	1,448,664	
合 計	1,870,824	



【特別委員会の発足】

緑の学舎運営委員会

▼現状把握も含め今後は計画的に

母校の教育環境の整備に努めるため
十九年十一月「緑の学舎運営委員会」
を立ち上げました。当面の事業とし
て二十年三月、前庭の危険木の除去
作業を春に行いました。主に空洞木、
バランスの悪い枝の取り払いを行いま
した。今後は将来に向けて補植樹
を検討してまいります。

▼前庭にあった桜の老木を撤去し
ました。

うれしい事にこの桜は自らの洞に
こぼれ種を残して枯れていきました。
なんと芽吹いた幼苗が切り株をゆり
かごにして次世代の新しい桜となっ
て育っています。少し長めでしたが
切り株を残しました。残した切り株
にしっかりと根を張っていますから
是非見てあげてください。(写真)

▼七十年記念事業の同窓会事業と
して、今期返還されるスキー場跡
地を利用して桜の苗を七十本植樹す
る事としました。植樹は二十年十月
十九日です。

「桜花爛漫」と称して記念石碑も
設置いたします。石碑の費用捻出の
ため同窓生の皆さんから暖かい浄財
の提供を受けました。ありがとうございます。

ございました。

今後は桜の森を本当の森に育てて
いくために皆様の一層のご協力をお
願いしたいと思います。

委員会構成

委員長	岡部 誠二(7)
副委員長	平田 廣美(6)
委員	坪田 邦光(23)
委員	竹林 均(27)
委員	三上 貴康(32)
事務局	溝口 信義(18)



前庭の危険木調査(2007.11)

深川西高等学校「緑の学舎運営委員会」

<事業報告>

- 20. 5. 4 記念植樹の候補地の現地視察(岡部・溝口)
- 20. 5.12 記念植樹の苗木を栗山に取りに行く(岡部・溝口)
- 20. 5.13 桜苗木委員長宅用地に仮植え(岡部)
- 20. 6.23 第1回運営委員会(会長・岡部・平田・溝口)
現地確認・除草剤散布
- 20. 9.11 運営委員会・富士屋にて
(大西・岡部・平田・坪田・竹林・三上・溝口)
- 20. 9.14 現地で打合せ確認作業(岡部・溝口)
- 20.10. 1 植樹会場下準備作業、下草刈り、除草剤塗布、位置確認
(岡部・平田・坪田・三上・溝口・事業団)
- 20.10. 5 植樹会場下準備作業、穴の位置確認、穴掘り
(岡部・平田・坪田・三上・溝口・事業団)
- 20.10.12 植樹会場下準備及び一部植樹他環境整備
(岡部・平田・坪田・三上・溝口・事業団)
- 20.10.13 植樹会場下準備及び事前植樹等(岡部・平田・溝口・事業団)
- 20.10.19 快晴の中、70年記念植樹を挙行
協力支援会員は107同期及び個人でした。
植樹参加者は43名。
懇親会参加者31名(まあぶにて)
- 20.10.22 コモ巻き、殺鼠剤散布(岡部・溝口・事業団)
- 20.11.11 運営委員会反省会・富士屋にて(会長・岡部・平田・坪田・三上・溝口)
- 20.11.27 スキー場跡地に関する市役所との説明会・市場にて(溝口)
- 21. 3.24 森林組合と現地確認を行いマーキング(岡部・溝口・組合3名)
- 21. 4. 8 現地越冬状況確認(溝口)
- 21. 5.10 コモはずし及び固定作業、鼠被害は二本のみで済みました。
(岡部・平田・坪田・溝口)

<事業計画>

- ◎ 母校の植栽木の生育、安全等の確認
- ◎ 現地整備 駐車場の確保・植栽周辺の環境整備
- ◎ 植樹地の延長の為、植樹参加者募集
- ◎ 植樹後の管理作業



枯死した桜の処理(2008. 3)

開校70周年記念事業 開催報告

開校70周年記念事業

昨年の秋、同窓会の最重要事業として深川西高等学校開校70周年記念協賛事業にあわせて桜の植樹事業「桜花爛漫」を盛大に開催いたしました。

この事業はコクドの深川スキー場の閉鎖によりコース上にあった同窓会林（昔の学校林）が返還されることになったことから、平成19年秋に立ち上げた「緑の学び舎運営委員会」の中で様々な検討が加えられました。最終的に春の訪れと共に街から音江山の中腹を眺めたときコース上にピンクの桜が帯状に花咲く森を育てて同窓会の憩いの場所として未来につないでいくことに決定しました。

昨年の開校70周年記念にあわせて桜の森構想を

下記のように企画いたしました。70年ですから最低70本は植えようという事で計画は進めら



一己の13丁目を正面にして



深川の街中を眼下に

れ、また、駐車場、遊歩道なども順次同窓生の協力を得ながら整備し長く後世に引

もつてこの事業は晴天のもと行われました。参加者の皆さんは深川から一己を眼下に眺望のすこぶる良好な植栽地に感激ひとしおでした。

◎10月19日（日） 9時からの予定

◎樹種 エゾヤマザクラ

◎植樹本数 70本（最低本数）
（10坪に一本）

◎植樹面積 750坪（3反5畝）

◎駐車場は別途確保

◎維持管理 希望者による協働と業務委託（高齢者事業団等）

殺鼠ダンゴ散布（越冬時の食害防止のため根元に3袋程度）

下草刈り及び除草剤散布

◎参加資格者 同窓会会員

◎参加料 3,000円

◎作業

・整地（地こしらえ）

場合によっては除草剤

・灌水 秋口なので自然灌水でいけると思うが各自持参

・添え木（副木）立て

一本支柱にして固定（後日実施）

・枝まとめ ネット巻き

支柱に固定（後日実施）

・殺鼠剤散布 防犯対策 防犯対策（後日実施）

植樹終了後「まあぶ」で風呂に入浴し和気藹々の中で打ち上げを終了。地続きの返還地に今後も桜を植樹することを全員で確認する。

【21年度の総会で承認されたこと】

行っていくことが承認されました。更に周辺の環境整備をすること



植樹風景



にも了解を戴いたところです。

桜の花咲く山をみんな育ててま

しょう。委員会では遊歩道なども設置出来れば等々夢見ております。

今年度も時期を見て植樹事業を行いますので同窓生の皆様には是非ご



全員で記念撮影

協力をお願いいたします。その節は同期の幹事の方にとりまじめのお願いをするほか、外に向かつては出

開校七十年記念協賛会の設立

七十周年記念事業が近づいてきた十九年二月初めに準備委員会を設立。同年九月十日には正式な協賛会を立ち上げ事業内容を決めました。協賛会長には津田恭衛氏を選出。順次役員を決定する。

記念事業の内容は記念式典の挙行。顕彰を主として在校生吹奏楽による記念演奏会。記念誌の発行。記念講演会。学校教育振興事業として吹奏楽部の楽器購入、野球部のピッチングマシンの導入。記念美術展の開催を決める。その他に祝賀会の開催を決定する。

その後、趣意書の発送、協賛金の募金活動を始めた。記念式典及び祝賀会等七十年の節目を飾るにふさわしい内容にするべく各部門においては数回会議を開催した。

先立つ平成十八年、趣意書発送前にと同窓会事業の一つでもある会則第六

条の一に基づくところの名簿作成事業を行い住所の確認作業をおこな

った。今回は装いも新たに名簿を発刊できる事とな

った。その節には同窓生の皆様には大変お世話になりました。

体育館の中は来賓の方々の他、行政関係者、教育関係者、他関係団体、表彰者の方々、同窓生、協賛会、PTA、旧職員の方など大勢の出席を得て在校生も着席の中、厳肅なムードに包まれ式典は挙行されました。物故者に黙祷の後、各方面からのご祝辞を戴く。山下市長が同窓生とあつて在校時の

開校七十年記念式

体育館の中は来賓の方々の他、行政関係者、教育関係者、他関係団体、表彰者の方々、同窓生、協賛会、PTA、旧職員の方など大勢の出席を得て在校生も着席の中、厳肅なムードに包まれ式典は挙行されました。物故者に黙祷の後、各方面からのご祝辞を戴く。山下市長が同窓生とあつて在校時の



協賛会設立総会



記念式典会場

記念講演



木下 博勝 氏

七十周年記念を迎えるに際して記念講演を開催することを協賛会で決定していたが講師には同窓生OBを軸に検討することとした。講師として経験豊富な稀有な人材としての同窓OBが大勢おられるが在校生にも知名度があって最適とお願いしたのが木下博勝氏でした。十一月五日のお忙しい中、気持ちよくお引き受けをしていただきユーモアに富んだお話の中にも社会に出てから必要な事柄を分かりやすくお話をさせていただきました。特に「声を大きく」「必ず挨拶」「清潔」等繰り返し述べていました。又、大切なこととして「今、やるべきことをする」「ライバルを作る」「お礼は四回言う。直後、翌日、一週間後、一ヵ月後」など他にもありましたが飽きることも全くなく在校生、先生や協賛会関係者が【み・らい】で楽しいためになるお話で一時をすごしました。

記念美術展 卒業生による美術展

記念事業では初の取組として11月15日から31日までの17日間OB・現役・教師を含めての書、絵画を中心とした美術展を開催いたしました。多くの同窓生、関係者に来館いただきましたことに感謝を申し上げます。

会場・アートホール東州館にて

出展名簿

宮本 義満・S 35年卒	岩手県	新象作家協会会員
濱田 秀美・S 31年卒	静岡県	日本清興美術協会会員
石原 博之・S 27年卒	故人	
真柄 修一・S 25年卒	滝川市	日展・道展会員 一水会会友
佐藤 泰子・S 31年卒	札幌市	自由美術協会会員
石浜 陽一・S 18年卒	茨城県	写真
山本 美次・S 35年卒	札幌市	無所属
寺腰 精司・美術教諭	深川市	道展会員
笠原 悦子・S 37年卒	北広島市	全道美術協会会友
渡辺 貞之・S 34年卒	深川市	独立美術協会準会員 全道美術協会会員
石川 宏香・在校生		
三上 貴康・S 55年卒	深川市	書道研究「心華社」会員
大口 優・S 35年卒	旭川市	道展会友・純生展会員
松田 洋子・S 37年卒	妹背牛町	北海道書道協会所属
巽 郁夫・元美術教諭	故人	
丸木ひさ子・S 50年卒	埼玉県	絵本原画 丸木位里・俊美術館管理



て事業は開催されました。準備作業は大変でしたが多くの同窓生の協力を得て今後に大きな期待を持っています。

春の現地報告で鹿の被害があったことに對しての対策を練ること。又、補植を行い残存する桜の周りの下草を刈ること。現地の上の部分の用地と下の部分の用地にも桜の植樹事業を最低でも3ヵ年かけて継続して

や深ナビ等で周知いたしますが同窓生全員に案内の発送は出来ませんのでご了承願います。前もって参加希望の方がおられましたら幹事長まで連絡をください。

70周年記念事業協賛会決算書

収入の部

	項目	金額	備考
協賛金	協 賛 金	6,159,860	
	積 立 金	5,080,686	
	祝 賀 会 費	337,000	
	繰 越 金	572,056	60周年繰越金
	雑 収 入	5,072	
	合 計	12,154,674	

支出の部

	項目	金額	備考
総務費	需 用 費	59,330	
	役 務 費	1,363,955	
	雑 費	5,040	
	式 典 費	166,229	
	祝 賀 会 費	606,735	
	記念事業費	8,053,420	
	繰 越 金	1,899,965	
	合 計	12,154,674	

記念祝賀会

記念式を契機に集まった旧知の友がテーブルを渡り歩いて楽しい一時を過ごしました。旧中の方々



旧中生校歌熱唱



祝賀会にて津田恭衛協賛会長

思い出を交えて祝辞を述べておられた。各種顕彰が終了して記念式はいよいよ記念演奏会へと入っていく。演奏も七十周年を祝うには素晴らしい良かつたが最後の全校生徒による記念賛歌として「ハレルヤ」を合唱、これが又、本当に素晴らしい歌声であった。高らかな歌声の中で記念式は終了しました。

【旧中1期】

八十三歳からの年齢になり札幌中心で時々近況報告とか旅行会を有志で開催。

【旧中2期（旧制深中2期会）】

平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとしたが2、3年ごとに有志で開催。

【旧中3期（旧制深中3期同期会）】

毎年開催。17年には記念誌を制作。十九年も九月札幌にて開催。二十年も9月20日札幌にて開催。今年も開催予定。

【旧中4期（旧制深中4期生）】

平成15年中島武敏元代議士を囲んで同期会。
20年中島武敏元代議士を囲んで（ふれあい会館）

【旧中5期（旧制深中5期会）】

毎年開催。15年鎌倉16年函館。17年札幌。18年美唄。19年六月深川。十月台湾へ修学旅行計画。二十年には開校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。

【1期】

平成6年岩見沢市、7年滝川市、8年幌新温泉一泊、9年箱根・東京2泊、10年深川市、11年定山溪温泉、12年滝川、13年岩見沢、14年深川、15年札幌、16年滝川、17年札幌開催を最後に中断

【2期（旧深中7期同期会）】

毎年秋季に開催。東京、札幌、深川持ち回り。12年は卒業五十年で札幌、13年はホテル館、14年は東京、15年は札幌、16年は深川。

20年9月4日深川開催 ゆう・ゆに47名。満田先生出席、お元気でした。

【10期】

5年に1回の開催
十五年6月に45周年記念で北広島で開催。

【11期】

十二年八月還暦記念を深川で開催、十六年は八月二十日札幌70名。18年十月十三日深川で開催。20年札幌。

【12期（西高35年卒同期会）】

十三年秋、還暦同期会を開催した。参加58名。18年開催。

【13期（三六会・サボロウ会）】

H十年HP開設ML（倉山昭男）
[http://www.egroups.co.jp/group/36kai](http://www2.big.or.jp/~yclub/http://www.egroups.co.jp/group/36kai)
十四年六月還暦記念同期会を開催板倉。深川在住は毎年開催したいと言っている。20年開催。

【14期】

十六年五月一日還暦同期会を開催。深川ホテル。
20年2月天人峡パークホテル。
二十一年九月十三日開催決定。

開催。十一月東京組が開催。

【21期】

十四年八月。久しぶりの開催です。十八年8月12日開催。

【22期】

十二年卒後三十年で開催。参加60名（日の出）
20年八月札幌開催。

【23期】

十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。

【24期】

十四年札幌、十六年六月深川（日の出）にて開催35名。十七年六月札幌にて連続開催。20年6月まあふにて開催。

【25期】

十四年十一月に札幌にて開催。70名参加。

【26期（49年卒業同期会）】

16年は卒業三十年で9月18日札幌にて開催、百名参加。

【27期】

十六年一月二日開催し74名参加。

【28期】

三回目となる同期会を十七年八月十三日板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。二十二年札幌開催決定。

支部報告

旭川支部 総会報告

《参考》

第一回 五十三年 一八〇名
第二回 五十五年 一二三名
第三回 六十二年 一一六名
第四回 平成十三年 一二〇名
この後開催がありません。

小樽支部

支部長・秋山義昭氏（高十三）現在二十二名

東京支部 総会開催

第十七回総会は19年9月29日開催。当番期は四十九年（26）・五十年（27）卒業期が担当しました。参加者は71名。

第十八回総会は二二年度の予定で当番期は五一年（28）・五二年（29）卒業期となっています。

支部長 草原克豪（12）

副支部長 堀口正顕（10）

幹事長 玄番英臣（14）

副幹事長 関 肇（11）

会計幹事 佐藤京子（22）

幹事 松尾 薫（16）

鈴木大吉（7）

越智真琴（19）

【3期】

東京は毎年開催。札幌は随時開催。

【4期（深川西校第4期生同期会）】

札幌が中心になって毎年開催しています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。19年5月定山溪で卒業55年で55名参加。20年6月20日札幌。

【5期】

不定期開催。

【6期（西高29会）】

深川組は毎年同期で旅行実施。札幌勢は年に6回集まり、東京勢は年一回集まる。全体での開催は17年札幌。20年6月に深川支部開催。二十一年も6月。いずれも二九会なので二十九日に開催している。

【7期（深西7期同期会）】

3年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は50周年を札幌にて八月二六日開催五十人参加。満田・津田先生出席す。二十年旭川。

【8期】

不定期開催。20年6月札幌第一ホテル。二十一年8月深川在住者。9月には札幌で開催する。

【9期】

10年深川・12年旭川・14年札幌・16年北竜。
18年東京。毎年開催の意向を受けて19年秋に定山溪、小樽を予定。19年3月深川在住者で開催。

同期会

【15期（深西38会）】

5年毎に開催している。十年は11月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二一年度札幌予定。

【16期（深川西高16期卒業同期会）】

5年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。20年9月開催。

【17期（高17期同期会）】

十二年に板倉、十七年8月15日板倉で開催。四年に一回。

【18期（猪子会・いのね会）】

十七年九月札幌にて開催60名。20年十月、富士屋にて開催決定六十名。東京組は毎年開催で二十年は九月。札幌組は随時集合。深川組は毎年夏、冬と開催している。次回は二十二年札幌開催決定。

【19期（深川西高19期卒業同期会）】

5年に一回の開催。17年旭岳のふもと湧駒別温泉で開催登山も兼ねた。20年はゆう・ゆで還暦同期会を十月開催。

【20期（深川西高第20期同期会）】

四年に一回の開催でやっています。十二年六十名参加（深川ホテル）16年は八月に開催した。20年8月深川で

【31期】

卒業二十年を十一年に深川で開催。百十名。

【34期】

卒業二十年を十四年に深川で開催。

【35期】

卒業十五年を十年に深川で開催。

【36期（深川西高36回生同期会）】

十六年卒業二十年で一月二日板倉99名参加。卒業二十五年を二十一年一月に開催。

【37期】

十四年開催。板倉。

【39期】

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名。

事務局では記載の期以外は把握して居ません。きつと開催しているところもたくさんあるのだらうと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者を探し支援を頂きながらそれぞれの期の動向が今以上に判明するように努力していますがなかなか望みがありません。情報が寄せられればより充実した会報になるのですが…。又、それぞれの期の幹事の方には最新の情報を届けて頂ければありがたいと思います。同窓の夕べの実行委員会がきっかけで同期会を開催したところもあるようですからそれなりに役にたっているようですね。

滝川北斗会 総会開催

永年北斗会の発展に尽力されていた中山会長（旧中二）が二十年一月に逝去されました。誠に残念の極みであります。開学の元を作られた大先輩が相次いで他界されています。無常は常と判りつつも無念であります。

今年二月、第四十六回の滝川支部総会が開催された。毎年定期的に開催されていてなかなか盛会。会長出席。滝川、三浦華園にて。

二十年八月十日開催の「夏季研修会」で新役員が決定いたしました。

顧問	大西道祥・山下貴史
会長	横山 猛・後藤昭六
副会長	境 和一（旧五）
幹事長	吉住敏夫（高二）
幹事長代行	岩田兼一（高三）
監査	沼田達雄（高一）
	熊本智揮（高五）
	下道敏之（高十二）
	高谷護郎（高六）
	水本凱也（高十二）

コーラス大会

長い歴史の積み重ねは
新しい感動の積み重ね
でもあります。

コーラス大会の五十年を記念して十八年にCDを作成しました。その時に添付されていた一文を転載させていただきます。

コーラス大会50年の歩み

コーラス大会の歴史をたどると二つの源に達する。一つは、開校二十周年記念誌によると昭和26年頃の校歌作成計画にさかのぼる。校歌作成は大変な仕事であつたらしく、生徒会は校歌作成委員会を組織し、学校・PTA・生徒会が一体となつて引き継がれていった。昭和26・27年の2年にわたつて歌詞も曲も生徒の手で作り上げ、皆で歌おうと取り組んだ。この時校歌はできずじまいに終わったが、昭和29年2月頃佳作として選ばれた『深川西高学生の歌』（作詞は当時の3年生）と後に校歌に昇格した『生徒会の歌』を作成した。

二編の作曲を手掛けたのは、当時本校在職の教諭であつた。今もこの曲は共感と情熱を持って歌い継がれている。もう一つの源流は『学生の歌』成立の数年前から『読書会』を設けるなど多彩な活動を行つていて、昭和29年5月発足の「あゆみ会」

五十三回コーラス大会が五月二十日開催されました。当時十八歳の同窓生が今は七十一歳になつてゐるわけで、なるほど大変なことだと思ひます。今年の連合課題曲は「走る川」。十二クラスの自由曲発表。

最後の四六二名による大合唱は、やはり感動ものです。近年は「み・らい」で開催していますので会場の条件が良く、聞く方も発表する方も感動の中に終了することが出来ました。近年は父兄も聞きにきています。来年、機会のある方は是非どうぞ。最後の全員の全校コーラスは同窓生としても是非とも聞いてみたいものです。

が中心となつた「うたごえ運動」にある。明治図書「学園自治の旗」によると、「昼休みや放課後、校庭で青春歌集記載の明るい健康的な歌を輪になつて歌う」と記されている。やがてそれが全校コーラスになり、毎年全HR出場の合唱コンクールとして行事に定着していった。『学生の歌』成立と、「あゆみ会」発足とはほぼ同時期であり、この二つの出来事がきっかけとなつてここにコーラス大会が誕生した。このように歌声の輪が自然な形で広がることで、西高コーラス大会は生まれ、行事に繰り入れられたと思はれる。

昭和31年、第一回コーラスコンクールが生活委員会（今の厚生委員会）によつて音楽室で開催された。昭和32年（第二回目）以後は学芸委員会の担当となつたが、しばらくの間HR対抗の名譽を懸け団結を競う場であつた。担任教諭も含めたHRのまとまり、練習の参加姿勢に苦慮し、合唱の出来映えに一喜一憂し勝敗に涙する様子が毎年に繰り返された。だが次第に薄れて行く意欲と自治意識の低下による問題に直面し、生徒会活動の立て直しをはかるため、自主性と自治意識の高揚を目指

した行事の質的向上、上級生の指導力の強化、各HR、連合内の団結力の強化への取り組みが開始された。昭和53年、自由曲二曲制をやめ学年課題曲を導入。各学年270名によるコーラス実現で感動を呼んだ。昭和54年、会場を市民会館に移す。立派な施設で行うことは、やる気を高め、引き締まつた気持ちにさせ行事を充実させた。昭和55年、ハレルヤコーラスを3学年の課題曲とする。原語で歌うというこの難曲をどのクラスもよくこなした。

昭和56年、3学年課題曲は前年と同曲とし、内容の一層の充実を狙つた。成果はこの年西校が当番校とする全道演劇大会で3学年と音楽部による「300名のハレルヤ」として参加者に好評を得た。昭和57年、従来のHR毎の発表を一部改め、連合課題曲を導入し縦割りによる連合コーラスとHR1曲の現在の形式となつた。これにより各連合における上級生の指導力、連合の団結力の真価が問われるようになった。連合課題曲の導入により全校コーラス（800名）が実現し、HRの勝敗を乗り越え感動的なフィナーレをかざつてゐる。

平成9年、伝統的な西校の三大行

事であるコーラス大会を廃止するという大きな提案が生徒会執行部からなされた。42年間受け継がれてきた伝統的行事が危機的な状況に陥ることになった。提案の理由としては、みんなで歌うということが時代の流れと共に薄れ始め、「やる気がない」「充実しない」という悪魔の方程式が完成し、多くの生徒が嫌気をさしたからである。そこで全校生徒参加の「コーラス大会廃止のためのアンケート」と全校討論会を実施し、集会では活発な意見が出た。この討論会はとても充実したものとなつた。当時の3年生の大多数がコーラス大会廃止の提案に反対し、2年生の会長は「コーラス大会とは何か、行事・生徒会とは何のためにあるのか」など、生徒会の根本を考え悩んだ。結論としては「やっぱり行事、生徒会は生徒のためにある」という結論に達する。最終的にこの提案は否決となる。「今後、どうしたらやる気になるか、充実するか」と、どんな時も前向きに考えることが必要である

と当時の生徒会長は言っている。この年の合唱コンクールは、ギターを使った演奏なども行われた。平成12年、連合曲が同じものに統一され、各連合の特色がよく見えるようになった。平成14年、合唱コンクールを5月に実施したため、前期中間試験や高体連集約大会が間近であるという過密なスケジュールから練習期間の短縮になり、生徒にはより効率的な仕上げを求められた。平成15年、市民会館改築のため、本校体育館を会場として開催した。例年より狭い会場だったが手拍子をするクラス、真面目に歌うクラスなど個性が表れていた。平成16年、文化交流ホール「み・らい」が完成し、新しく設備の整つた会場で歌声を響かせ、今年の50周年を迎える現在に至つてゐる。50年の歴史を生んだコーラス大会。この大きな節目を機会に、「コーラス大会のあゆみ」を再確認し、今後とも伝統的な深西の三大行事の一つとして受け継がれていくことを願ふ。

CD作成委員 2年3組 北山晴香

咲け！ 深西コーラス！

生徒会長 太田 侑輝

新学年・クラス・連合となつて最初の行事が始まります。コーラス大会のために約十日間という短い期間の中で、各クラス・連合ともに、朝や放課後などを使い練習をしてきました。今日は練習の成果を存分に発揮してください。一年生は二、三年生に負けずに頑張ってください。二年生は一年生のお手本となるように、又、三年生を超えるように頑張ってください。そして、三年生にとっては最後のコーラス大会です。悔いの残らないように全力で歌い、又、三年生の歌声を「み・らい」に響かせてください。

最後に、今日コーラス大会に足を運んでくださった保護者の方々、そして、地域の方々、本当にありがとうございます。今日は楽しんでいってください。

（53回大会パンフレットより抜粋）

平成21年度 高体連空知支部大会等結果一覧 (全道大会出場一覧)

〔陸上競技部〕

男子	100m	2位	齋藤悠也 (2年)
	200m	優勝	齋藤悠也 (2年)
		4位	小西泰主 (3年)
	400m	優勝	小西泰主 (3年)
		6位	堀米雅樹 (3年)
	800m	6位	堀米雅樹 (3年)
	100mh	2位	山上忠志 (2年)
	走幅跳	優勝	齋藤悠也 (2年)
女子	円盤投	3位	安村啓汰 (3年)
	やり投	6位	長谷克也 (2年)
	200m	3位	大鐔ひとみ (2年)
	400m	優勝	大鐔ひとみ (2年)
	800m	優勝	沼田ゆきこ (2年)
	1500m	2位	沼田ゆきこ (2年)
	100mh	3位	濱野亜里紗 (2年)
	走幅跳	優勝	濱野亜里紗 (2年)
男子	砲丸投	3位	竹原万智 (3年)
	円盤投	2位	竹原万智 (3年)
	やり投	5位	好川沙希 (2年)
	4×100mR	3位	浅田克将 (2年)・齋藤悠也 (2年) 伊東輝直 (2年)・小西泰主 (3年)
	4×400mR	3位	小西泰主 (3年)・齋藤悠也 (2年) 浅田克将 (2年)・堀米雅樹 (3年)
	4×100mR	3位	玉置恵美 (3年)・大鐔ひとみ (2年) 好川沙希 (2年)・濱野亜里紗 (2年)
	4×400mR	2位	濱野亜里紗 (2年)・大鐔ひとみ (2年) 好川沙希 (2年)・沼田ゆきこ (2年)
〔バドミントン部〕			
男子	団体	2位	
女子	団体	優勝	
男子	シングルス	3位	横井光 (3年)
	ダブルス	3位	横井光 (3年)・金森拓也 (3年)
女子	シングルス	優勝	本田恵利奈 (1年)
		2位	安藤理奈 (1年)
		3位	山田唯衣 (2年)
女子	ダブルス	優勝	安藤理奈 (1年)・本田恵利奈 (1年)
		2位	山田唯衣 (2年)・五十嵐七海 (2年)

期待の一年生がインターハイ出場

一年生の本田恵利奈さんが「2009近畿まほろば総体」(8月1日～大阪市)のバドミントン女子シングルスに出場する事になりました。健闘を祈って大西会長より祝金を贈りました。本田さんは井上健一監督のもと初の全国大会に向けて毎日部員と熱い練習に励んでいます。



〔女子バレーボール部〕

2位

〔卓球部〕

男子 団体 優勝

男子 シングルス 2位 中村聡宏 (3年)

〔柔道部〕

男子 -81kg級 6位 坂谷内憲之 (3年)

学校祭

テーマ 60年の時を経て 今、蘇る4つの伝説

7月4日(土) 演劇・展示・アピール・バザー
7月5日(日) 演劇・展示・バザー・行灯

60回目の夏 そして未来へ

7月6日学校祭2日目の夜を想像しています。音江山が深い藍色に変わり、長い歴史の中の一瞬、迫り来る闇が炎に輝く時、きつと学校祭は最終章を迎えるのでしょうか。そこには紅蓮の炎みつめる「ひと」がいます。「ひと」はすつかりたそがれた中、準備が始まった日からのできごとに想いを馳せ、自分のいた場所と時間を振り返る。夢中になり追いかけた時間を惜しむ時、まぎれもない学校祭という名の青春が、思い出として心に刻まれます。

西高の草創期には、学校祭なるものはなかったようですが、そこに学んだ「ひと」は、庭に木を植え、後輩がこの木陰でいそしむ姿を夢見つつ、流した汗がそこにはありました。時が経ち、その木は成長し学校とその「ひと」たちの青春のシンボルになつていきます。

今、西高で学ぶ君たちが、後輩に何を夢見て未来を託し汗をかくかを自問してみてもいいでしょう。ちょうど60回目の夏、71年目の深川西高校だから。

そうすると、この西高で過ごした「ひと」たちの夏と同じように、今を生きている君たちは、未来へ強いメッセージを送る必然に気付くはずです。

そんな想いを込めてエネルギーを結集させ、さらにしっかりと学校祭を創り上げよう。自分と仲間の思い出と、そして未来のために・・・。(第60回学校祭パンフレットより 須藤校長・記)

ありますがこれも時代の流れでしょう。昔と違って土曜日は休みで、放課後の自由度も制約がありゆとりがありそうでないのが実情です。若さはじけるあつという間の二日間でした。ちなみにバザーのメニューは今年22種類でした。

行灯は昔と違って沼田の夜高行灯の影響もあつてきれいになりました。発色がいいですね。テーマは昔と違って軽いのりになっています。花園公園までの行進や応援合戦。夕闇せまる公園からの帰りは灯りが入り美しい行灯となります。

楽しいファイヤーストームも昔と大きく違って次から次へと投げ込んなどと言うことは簡単には出来ず、燃やすことが難しくなりました。環境を重視することから燃やすこと自体が問題となってきましたし、燃やすものも分別をして、燃やせない物、燃やせる物と分けて投げ込まな



ファイヤーストーム(2006.7)

くてはなりません。燃やせないものが多いのが現状です。過去とはスケールも随分変わりましたね。その代わり花火が加まりました。在校生の暑い夏はこの行事で終了です。

同窓会林・

湧雲の白樺・

今年度の現状

今年の三月に現地視察を行いました。全体の九割を占める自然林のほとんどが樺の樹のようです。環境重視の世界の流れの中で森林は守るべきものとの流れが大勢を占めています。未来の同窓生に引き継ぐためにも大事に育てていきたいと考えます。開校七十年の同窓会事業として

桜を植樹しましたがこの機会に是非植樹地の維持に協力して頂いて、同窓会林全体を眺めて頂きたいと思えます。すぐ側にある湧雲の白樺も道路から見るところに有り大きくて立派なものです。是非一度見るところをおすすめします。事務局としては会員みなさんが突然ポツと来ても現地が分かるように看板を立てています。イルムケツプスカイラインは車で登ることができます。沖里河山には市内はもとより大雪連峰、暑寒連峰、秀峰・芦別岳などが一望できる展望台がありますので行って見てください。



修練道場跡



湧雲の白樺



芽生え

昔、心和ませた桜・・・。
役目を終えた切り株に
今、桜の若木が育っています
これから花咲く後輩たちが
先輩に守り育てられる象徴のように
前庭に存在しています

【前庭の現状】

▼一昨年前庭に2本のユリノキを補植しました。干ばつにも負けず何とかが根付いたようです。今春も元気な芽が出てきました。今年は一段と延びたような気がします。花が咲くのがいつごろかはわかりませんが楽しみに待ちたいものです。

▼ここ数年間の相次ぐ強風で白樺や桜等の老齢木は幸い人的被害や建物に対する被害はなかったものの相次いで倒木となり、中には近隣住宅への被害も予想されることから年度別に順次更新していく作業が必要となってきました。道道の通行車両からの騒音や夏の日照からの緩和、精神的、視覚的にも緑豊かな教育環境が必要です。校歌の歌詞には「正義に白き白樺は 自由の空にそそりたつ」と歌われ欠かせない樹木ですが、現在は補植もしていないので先々はなくなりそうです。今後は補植も検討していきます。

同窓の夕べ

開催のお知らせ

第十三回「同窓の夕べ」を開催致します。

日時 平成二十一年九月十二日（土）

開演 午後六時（吹奏楽部の演奏）

開会 午後六時半

会場 プラザホテル板倉（深川市三条八番）

会費 二、〇〇〇円

実行委員会は十二期、二十二期、三十二期、四十二期、五十二期が担当です。実行委員長は十二期の板倉克宏さんです。

二百余名の参加者になりそうです。プラザホテル板倉は同窓生にとつて楽しい一時の場所になるでしょう。前回からダービーがビンゴに変わりました。他にも楽しいイベントを沢山用意しているようです。美味しい豪華な料理を味わいながら初秋の一時をすごして頂けたらと思います。



昨年の締め
板倉克宏実行委員長

特に未参加の方、又、遠方の方でも都合が付きましたらこの日に日程を合わせて参加して戴けたら嬉しいです。
多くの同窓生の参加をお待ちいたしております。

同窓の夕べ 報告

第一回	平成 八年八月十四日	参加 三五〇余名
第二回	平成 九年八月十四日	参加 二〇〇余名
第三回	平成十一年九月十八日	参加 二二〇余名
次回から開催日を九月第二土曜日に固定する事に決定する		
第四回	平成十二年九月 九日	参加 一七六名
第五回	平成十三年九月 八日	参加 一五五名
第六回	平成十四年九月 七日	参加 二二〇余名
第七回	平成十五年九月十一日	参加 二〇〇余名
第八回	平成十六年九月十一日	参加 二二〇余名
第九回	平成十七年九月十六日	参加 一八〇余名
第十回	平成十八年九月 九日	参加 二二九名
第十一回	平成十九年九月 八日	参加 二二〇名
第十二回	平成二十年九月十三日	参加 二一〇名



吹奏楽を聴きながら（2008.9）



楽しく抽選会

制服初年度

以前から学内で制服の制度を取り入れることの検討がなされていた。

21年度の新入生より実施されることとなった。

◆北海道深川西高等学校制服



●正装
男子が濃紺の詰襟学生服
女子はセーラージャケット

●夏期指定略装
男女とも長袖か半袖の
ポロシャツ
オプションとして夏素材のスラックス、スカートがあります。

●オプション
夏用スラックス
夏用スカート
カーディガン(紺)
ニットベスト(紺・白)
女子用スラックス
スパッツ

資料収集のお願い

次回、開校八十年周年記念を迎えるまでには同窓生のお手元にある在校当時の資料を収集したいと考えています。年数を経ると貴重な資料も散逸して確保が困難になるからです。ご提供いただけるものがあれば是非お願いしたいと思います。お借りできるものはコピーをしてお返しいたします。

中でも学校祭やコーラス大会などの行事のプログラム、各クラブや部活の機関紙などです。特に文芸クラブの「うまごやし」などがあると良いですね。

六十年記念誌、七十年記念誌などに資料の明細が出ていますので参考にいただければ幸いです。どんなものでも構いませんのでお手元に資料がありましたら是非ともご協力をお願いいたします。

校歌・学生の歌・ 逍遙歌のCD新規作成

十数年前作成した校歌のCDも在庫が底をつき21年度中に追加作成する事となった。

旧バージョンは旧中の校歌が組み込まれていないために大変ご迷惑をおかけしましたが、今回はしっかりと挿入いたしました。写真も若干入れ替えをして盤も8cmから12cmに変更をいたしました。来春の卒業生から順次記念品として贈呈できる事になりました。

又、同窓生の皆さんの中で入手希望の方が居られましたら郵便振込にてお申しいただければ送料込みの千円にて頒布いたします。

創立20周年記念誌・復刻版頒布のお知らせ

本校の最初の記念誌である「創立20周年記念誌」が昭和33年9月6日に発行されました。推測ですが11回生の後期役員の紹介が掲載されていますので13回生までは所蔵している方がいるかも知れませんが以降については目に触れた方もないように思います。

今回、同窓会会報「湧雲」を全会員へ発送するにあたって復刻版の頒布事業をお知らせいたします。20周年記念事業協賛会と生徒会とが編集委員となって編纂発行されたもので現存する部数も少なく資料としても貴重なものと考え、今回復刻版の発行に至りました。作成に当っては旧中4回生の前田正太郎氏所蔵の記念誌を提供いただき再販にこぎつけました。今回、100部を作成しました。少々高めになりますが部数が少ないのでご了解をお願いします。

50年前の記録に目を通してみませんか？

(B5判 102ページ)

頒布価格・郵送料込み

1,900円

先着順に順次発送いたします。

尚、申込が百部を超えるなどの場合は増刷の関係から送付が遅れる場合もございます。



↓ こちらへ郵便振込にてお申し込み下さい ↓

口座番号：02770-2-45435

加入者名：北海道深川西高等学校同窓会

●同封の振込用紙は会報発行協力金専用です。この振込用紙では入金できません。

津田恭衛前会長死去

滝井肇氏から会長をバトンタッチして以来

4年間に涉り同窓会の発展に大変なご尽力をいただきました津田恭衛前会長が6月28日急性肺炎の為、急逝されました。80歳でした。日ごろから大変お元気で高齢にも関わらず日々深川市の発展に努められ、又、開校70周年記念には協賛会の会長をお引き受けいただき、ご挨拶の中では桜の咲く学校林で80年を開催したいと語っていましたが、大変残念ですが夢かなわず他界の極みとなりました。改めてご冥福をお祈りいたします。



どろやなぎ

(編集後記)

▼過去「同窓のゆうべ」の前売券の配布時に併せて同時発行していた同窓会便りは一昨年からタペ開催時に発行しています。在校生の活躍をお知らせするので「夕べ」で配布する方が詳しく報告出来るようになりました。

しかしながら、身近な会員にしか行き渡っていないのが無念でもありました。今回、同窓生全員に配送して模様眺めが出来ます。今、希望者に配信出来るスタート台に立っています。協力よろしく願っています。

毎年、心痛むことなのですが同窓の動向や在校生の活躍が幾らかでも同窓生に伝わっているのかな?という疑問です。

▼各期の動向や支部の動きにもっと力を注ぎたいと思っています。それには事務局のあり方を見直し若い世代の情報収集につとめることです。つまり若い世代を事務局員に迎えなければいけないと思っています。とは言え、皆さんには同期会の開催内容や状況について情報をお持ちの会員の方は事務局連絡先まで情報をお寄せ下さい。お願いします。(昨年と同文を再掲)

▼昨年は過ぎしやすい夏でした。雪解けの早さに驚きながら、さらに異常に早い桜の開花で出来秋も心配しましたがますますで終了しました。

今年は例年並の気候で来ていましたが六月の天候不順、七月の日照不足に夏らしい夏を体験していません。七月の半ばを過ぎても海水浴の話も出てきません。

しかし、長い人生色々ありますがありますから油断出来ませんね。

▼全国各地で移住定住への取組が進められているようです。定年後、元氣なうちにふるさとへ帰って定住しようかと思っている方は是非お声をかけてください。戻って来れそうな人がいたら大歓迎しますよ。

▼これまで同窓生関係者の書籍等の収集が少なく同窓の部屋の開設までに至っていないのが残念です。多くの先輩が各分野で活躍した足跡を同窓の部屋に一括して収蔵することが出来たら...と思つて居ますが、いつになったら実現することやら。(例年の独り言)

▼深川市のポータルサイト「深ナビ」に同窓会の動きをモールド情報としてUPしてあります。あまり追加情報は載せていませんが会報の発行を機に更新したいと思ひます。なお、「深ナビ」へのアクセスは深川のHPから入ることも出来ますし、検索窓で「深ナビ」と打ち込むと出てきます。

▼古い情報や過去の記事など重複している部分がありますが初めてご覧になる方も多いと思いますので再度掲載させて頂きました。ご了承下さい。

▼歴史はどんどんと積み重なっていきます。時代の変化に合わせて変わってきていることが実感としてわかるような年齢になってきました。古いことが懐かしくなってくることも事実です。記録が残されながらも事実までも会報が発刊されることを願つて... (記・溝口)

同窓会ホームページ

<http://mypage.fukanavi.com/nishikou/>

同窓会紹介

深川地域ナビ「深ナビ」でのモール情報にアップしています。

<http://mypage.fukanavi.com/>

から入って、ジャンルの教育・学校・高校

西高校の紹介ネット

<http://yubitoma.sphere.ne.jp/> 現在登録者400名

ホームページ紹介



同期会の開催をお考えの皆様へ



同期会の開催をお考えの皆様、宛名シールやリストを有料にて提供しております。

必要の方は、下記までご連絡ください。

〒074-0001 北海道深川市一条6番18号

(株)深川地方卸売市場 溝口 信義

FAX 0164-22-2162 E-MAIL mizonobu@nifty.com

※ご連絡は、FAXまたはメールでお願いいたします。



桜花爛漫・記念碑